



平成30年11月1日

各 位

会 社 名 日 本 ア ン テ ナ 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 瀧 澤 功 一  
(東証JASDAQスタンダード・コード番号: 6930)  
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 清 水 重 三  
TEL 03-3893-5221

### 平成31年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成31年3月期第2四半期の連結及び個別決算において、平成30年5月11日に公表いたしました平成31年3月期第2四半期累計期間(平成30年4月1日～平成30年9月30日)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成31年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値の差異

##### (1) 連結業績予想値と実績値との差異(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	6,700	△170	△180	△230	△18.39
実 績 値 (B)	7,426	139	97	74	6.07
増 減 額 (B-A)	726	309	277	304	—
増 減 率 (%)	10.8	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	6,111	△216	△207	△224	△17.97

##### (2) 個別業績予想値と実績値との差異(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	6,500	△200	△210	△250	△19.99
実 績 値 (B)	7,218	103	59	37	3.04
増 減 額 (B-A)	718	303	269	287	—
増 減 率 (%)	11.1	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	5,906	△226	△223	△243	△19.50

## 2. 業績予想との差異の理由

平成31年3月期第2四半期累計期間の連結業績及び個別業績につきまして、放送関連機器の販売に関しては、事業環境が継続して厳しい状況にあり、家庭用のテレビ関連機器が伸び悩む中でも、継続して拡販に注力いたしました。また、CATV事業者向け機器は、前連結会計年度に引き続き堅調でありました。通信用アンテナの売上高につきましては、官需向けデジタル無線用アンテナは弱含みでありましたが、通信事業者向け基地局アンテナの販売が期初の想定に比べて前倒しとなり、好調に推移しました。また、関連工事につきましても、アンテナ対策工事等が堅調でありました。この結果、連結及び個別の売上高は、前回の予想値を上回る結果となりました。

利益面につきましても、売上高の増加による影響のほか、業務の効率化やコストダウンへの取組を行った結果、営業利益、経常利益及び四半期純利益が前回予想を上回りました。

平成31年3月期通期業績につきまして、放送関連機器に関しては、4Kテレビや有機ELテレビ等の出荷台数の増加や新設住宅着工戸数の下げ止まりにより、事業環境の一定の改善を見込んでいるものの、一方で価格競争の更なる激化も想定されます。通信用アンテナにつきましては、通信事業者向け基地局アンテナは、第2四半期累計期間での前倒しの反動が大きいのと考えられます。また、関連工事につきましても、主力の新築ビル内共聴工事や、第2四半期累計期間に堅調であったアンテナ対策工事は、第3四半期会計期間以降に伸び悩むものとみております。

利益面につきましても、為替環境が不透明であり、コストアップの可能性を排除できないほか、新製品の開発費用を段階的に支出することを予定しております。

このため、平成31年3月期通期業績は、売上、利益とも、平成30年5月に公表いたしました予想を据え置くものといたします。また、配当予想につきましても、一株当たり21円の予想を据え置いております。

なお、1株当たり当期純利益につきましては、第2四半期累計期間に実施した自己株式の取得を考慮し、連結においては前回公表の12.79円を13.78円に、また個別においては前回公表の11.19円を12.06円に、それぞれ修正いたします。

当社の今後の対応といたしましては、引き続きシェアアップと新規マーケットの開拓を行うとともに、より一層の販売・生産体制の効率化・省力化とコストダウンを推進して、収益構造の更なる改善を図ってまいります。

## 3. 業績予想の適切な利用に関する説明

上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は市場の需要動向等様々な要因によって予想とは異なる結果となる可能性があります。

以上